



株式会社 高嶺木材

創業：1943年 従業員数：180人
 日南市大字伊比井173-1
 TEL 0987-29-1234 / FAX 0987-29-1434
<https://www.taka-moku.co.jp>

Web版はこちら



こんな仕事をしています。

宮崎県特産のスギのなかから良い原木を厳選して、住宅の構造材や化粧材、フローリング材などの内装材や外装材を製造し、販売しています。県内のほか全国各地のお客様へお届けしています。

高嶺木材ではたらく人にインタビュー

木材の仕事は循環型の産業です。50～60年前に昔の人が植えてくれた木をひとつたりとも無駄にすることなく資源にしています。皆さんが使っているノートやトイレットペーパーも木からできています。これからも地球にやさしい取り組みをしていきます。



社長 高嶺清哲さん

木材を販売する金額の計算や工事日の調整といった、営業担当者のサポートをしています。最近は住宅の省エネに関わる計算など専門知識が必要な仕事にも携わるようになりました。キャリアアップにもつながり、やりがいを感じています。



営業経理 田中舞さん

一本の丸太から柱やフローリングができるまで！

①原木の仕入れ



仕入れ担当者が市場で良い原木（丸太）を見つけて買い付けしたり、直接、山林の伐採現場へ行き良い原木を選び仕入れています。

②丸太の大割り



丸太を製品にする第一歩目です。一本の丸太を大きな機械で大割りし、次の工程へ進みます。

③板割り



おもに住宅など建築物の構造材となります。丸太の品質に合わせて10cm～30cm角など、大きな角材を作ります。



大割りから流れてきた木材は、家を建てるための羽柄材やフローリング材など目的に応じてカットしていきます。

木材は、1本の丸太から家を建てるプレカット材やフローリング材など、様々な形の製品になります。



④乾燥



木くずなどを燃料にした蒸気の熱を使って木材を乾燥させます。木は水分量が100%近くあるので乾燥させて20%程度にまで下げます。

⑤プレカット加工



昔は住宅を組み立てる加工は大工さんが長い時間をかけ手作業で行っていました。現在は機械を使い、短い時間で加工しています。

⑥出荷



それぞれの建設現場で使う木材をまとめ、現場へと出発していきます。

木材ってどんなところで使われているの？



「海幸山幸」

JR九州の観光列車「海幸山幸」の内装材には、高嶺木材の準不燃材や傷が付きにくい床材が使われています。利用客からは、木の香りや木目のやさしさなどが感じられると好評です。



そのほか木材チップにし牛や豚の寝床にもなっているよ！



道の駅きたごう

2023年に完成した日南市北郷町の道の駅は、高嶺木材が調達した「おび杉」がふんだんに使われました。地震に強い丈夫な建物に仕上がっています。



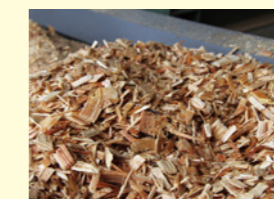
住宅の骨組み・室内

学校や住宅の骨組み、室内のフローリングなどにも木材が使われています。とくに、おび杉の家は湿気に強く腐りにくい性質があり、快適で居心地の良い空間を作ることができます。

木材は100%資源として活用しています！



木の皮や端材など製品にならなかった木片は細かくくわいて、バイオマスボイラーで燃やして蒸気を作り、木材乾燥のエネルギーとして活用しています。



製造過程で出た木片は細かいチップにします。チップは製紙会社に出荷され、製紙会社でトイレットペーパーやノートなどの紙になります。

